

## 第8回 札幌ジャズオーディオ鑑賞会 報告

日時: 2010年11月27日(土) 17:00~19:00

### 第1部 アナログ/デジタル聴き比べ(試聴アルバム:福居良/シーナリー)

曲 目	CD(デジタル)再生	LP(アナログ)再生
It could happen to you	ミドルテンポのスタンダード・ナンバー。 全体的に薄い感じ、時に全体をフラットな 特性にしているのではと感じる。	ドラムのブラシやシンバル音の響きが明確。 中音域の明瞭感が CD よりも出ている
I want to talk about you	スロー・バラッド。ピアノ残響音が小さく感 じられた。またピアノの中音域の鳴りが 少々小さく聞こえた。	ピアノの音が CD よりもよく出ていると感じた。 全体の輪郭がくっきりしている。
Early Summer	インテンポのソロから始まるオリジナル 曲。後半に激しいドラムソロがある。 ドラムソロが終わって、通常の演奏に戻る 際、全体的な音圧が下がったような耳障り だった。	全体的にアップテンポの曲であり、ピアノの 音に関しては、CD/LP 共に鳴っているように 感じた。全体のパフォーマンスが CD と LP で 多少異なっている印象を受けた。

\* 総論としてアナログ(LP)の方が聴きやすいと感じました。おそらく中音域の出方が LP の方が人間の聴覚の特性に合致しているのではと思います。CD は周波数特性上では幅広く音が出ているのですが、人間が聴くと全体的に薄く感じられました。(また音源をご提供頂きました榊田様ありがとうございました。御礼申し上げます。)

### 第2部 iPodを手作りD級アンプと小型スピーカーで再生

iPodなどのデジタル音源を手軽にスピーカー再生するミニオーディオをテーマとして、システムを検討しました。

D級アンプは、MAX9704(10W+10W)のキットから製作したものを使用。

製品情報はこちら。 -> <http://strawberry-linux.com/catalog/items?code=32001>

iPod(iPhone)とアンプ間は、高橋さんからご提供頂いた専用ケーブル(プロケーブル製)で接続しました。

製品情報はこちら。 -> <http://www.procable.jp/ipod.html>

スピーカーは、ノースサウンド・プロ製の道産白樺合板製エンクロージャーにTB社(Tang Band Speakers)製10cmユニットを組み込んだサイズ W175×H270×D210ミリのスピーカー。

製品情報はこちら -> <http://n-sound.com/>

システムは、iPodを手作りD級アンプに専用ケーブル(プロケーブル製)で接続しアンプの出力を、ノースサウンド・プロ製のスピーカーにつなげて、再生しました。(ケーブルをご提供頂きました高橋様ありがとうございました。)

#### <再生曲>

Round Midnight(Vladimir Shafranov(p))、The shadow of your smile(トミー(tb))、Embraceable you(鈴木道子(vo))、黒いオルフェ(杉田知子(vln))、For all we know(松山いずみ(vo/p))、Road song(笹島明夫(g))他

\* 途中、クラシックのモーツァルトのアイネ・クライネ・ナハトムジークを再生しましたが、どうもバイオリンの音が平坦すぎてすぐに中断してジャズに戻りました。(弦楽再生には工夫が必要かもしれません。)

#### <総括>

\* 今回、自作アンプと特製スピーカーで iPod を聞くと、オーディオとしても充分聞ける範囲であることが確認できました。また過大入力に関して D 級アンプが少々発信して歪んでしまう事がわかり、次回の検討項目となりました。今後も小出力アンプとスピーカーを自作して、iPod 再生を行う予定です。お楽しみに。  
今回もご参加頂いた皆様、ご協力頂いた RONDO 様、ノースサウンド・プロ様ありがとうございました。